

平成24・25年度
国立教育政策研究所
調査研究事業

魅力ある 学校づくり



目 標

- 不登校未然防止
- 児童生徒の将来の社会的自立

取 組

- 生徒指導の3機能を生かした授業づくり
- かかわり合いのある体験活動
- 小中連携・小小連携・地域交流

拠点校 周南市立岐陽中学校

〒745-0851 周南市大字徳山 4915

TEL 0834-22-8840

Email kiyocjm@shunan.ed.jp

連携校 徳山小学校 遠石小学校 岐山小学校

平成24年度版

魅力ある学校づくり調査研究事業とは

家庭教育や地域社会の変化に伴い、学校や地域が直面する児童生徒の生徒指導上の諸問題はますます多様なものとなっています。こうした中、小学校及び中学校における不登校児童生徒の人数は、依然として高い水準で推移していて、児童生徒の将来の社会的自立にとって大きな課題となっています。

本事業は、不登校の未然防止に焦点を絞った「魅力ある学校づくり」を進め、新たな不登校児童生徒を生まない工夫や取組について研究を行っていかようとするものです。

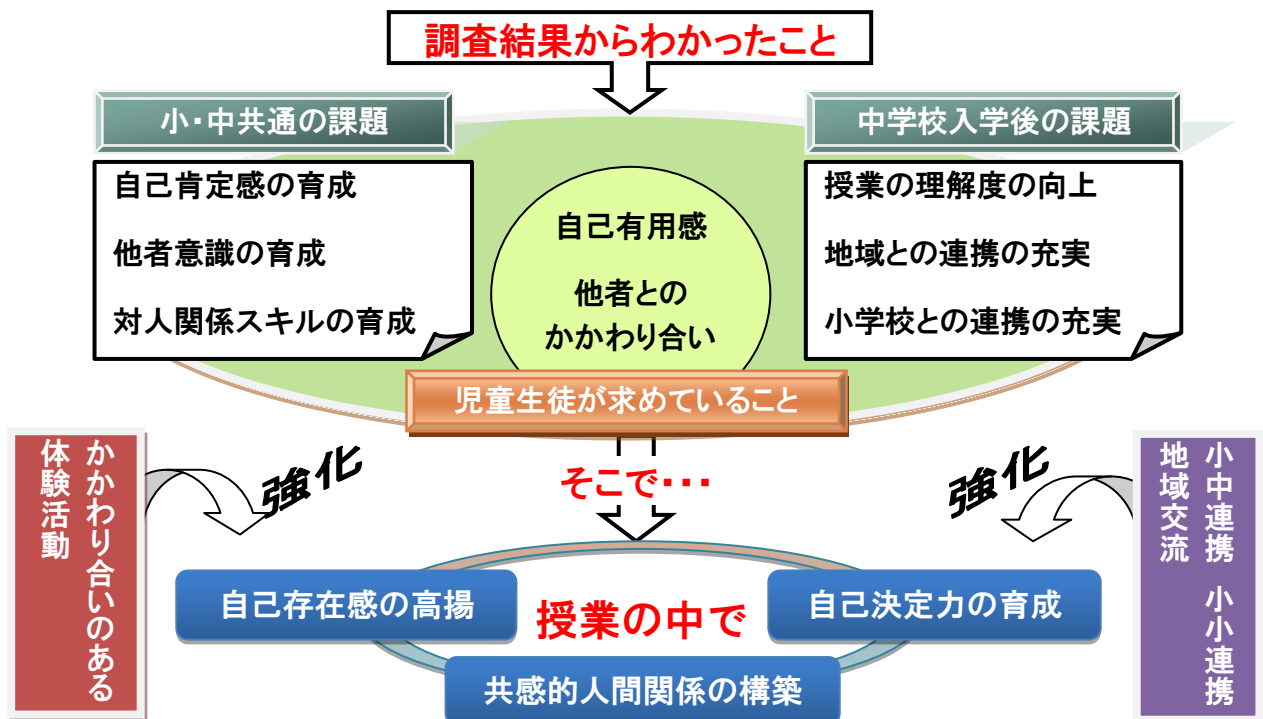
周南市立岐陽中学校区小・中学校の取組 3つの柱

- 1 生徒指導の3機能を生かした授業づくり
- 2 かかわり合いのある体験活動
- 3 小中連携・小小連携・地域交流

岐陽中学校区の小・中学校では、小・中学校の9年間で、授業を通して児童生徒が「自己存在感」を高め、「自己決定」をする力をもち、「共感的な人間関係」を構築できるようにしたいと考えています。そうすれば、児童生徒が自分に自信をもち、他者を認め、積極的にかかわり合おうとし、集団の中で居場所や絆を実感できるようになると期待しています。そのことは、本事業の目的でもある「不登校未然防止」や「児童生徒の社会的自立の促進」につながると仮説を立て、取組を推進することにしました。

どうして、この3つなの？

本校区では、事業開始にあたって、それまで児童生徒に対して感じていた課題と実態との差を確認するため、意識調査を小学校5・6年及び中学校全学年を対象に行いました。

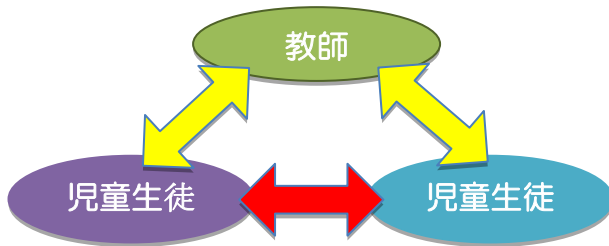


1

生徒指導の3機能を生かした授業づくり

生徒指導の3機能(自己存在感をもたせる・自己決定の場を与える・共感的な人間関係を育てる)の視点をもって組み立てられた授業は、児童生徒の学習意欲を一層喚起し、自ら学び、共に高め合う学習となり、学力向上、豊かな心の育成につながります。

本取組の推進にあたっては、授業改善とともに、生徒指導の3機能の視点からの授業研究や教員間での授業参観、児童生徒による授業評価等も積極的に行うようにしています。



- ・一人ひとりがしっかりと自分の考えをもちます。
- ・学び合いやかかわり合いを通して、考えを深めます。
- ・振り返りの場では、自分の考えや学びを確かめます。
- ・教師と児童生徒だけでなく、児童生徒間のかかわりを大切にします。

2

かかわり合いのある体験活動

それぞれの学校での取組に加え、小中連携による共同実践や児童生徒間の交流も行っています。



夏休みの地域河川清掃に、小・中学生が参加し、一緒に活動しました。

中学生の「あいさつ大使」が小学校を訪問し、登校時のあいさつ運動をしました。



中学校合唱コンクールのリハーサルを小学生が見学。最後に児童生徒と一緒に合唱しました。



中学校吹奏楽部の定期演奏会に小学校吹奏楽クラブがゲスト出演。夏休みに合同練習をしました。

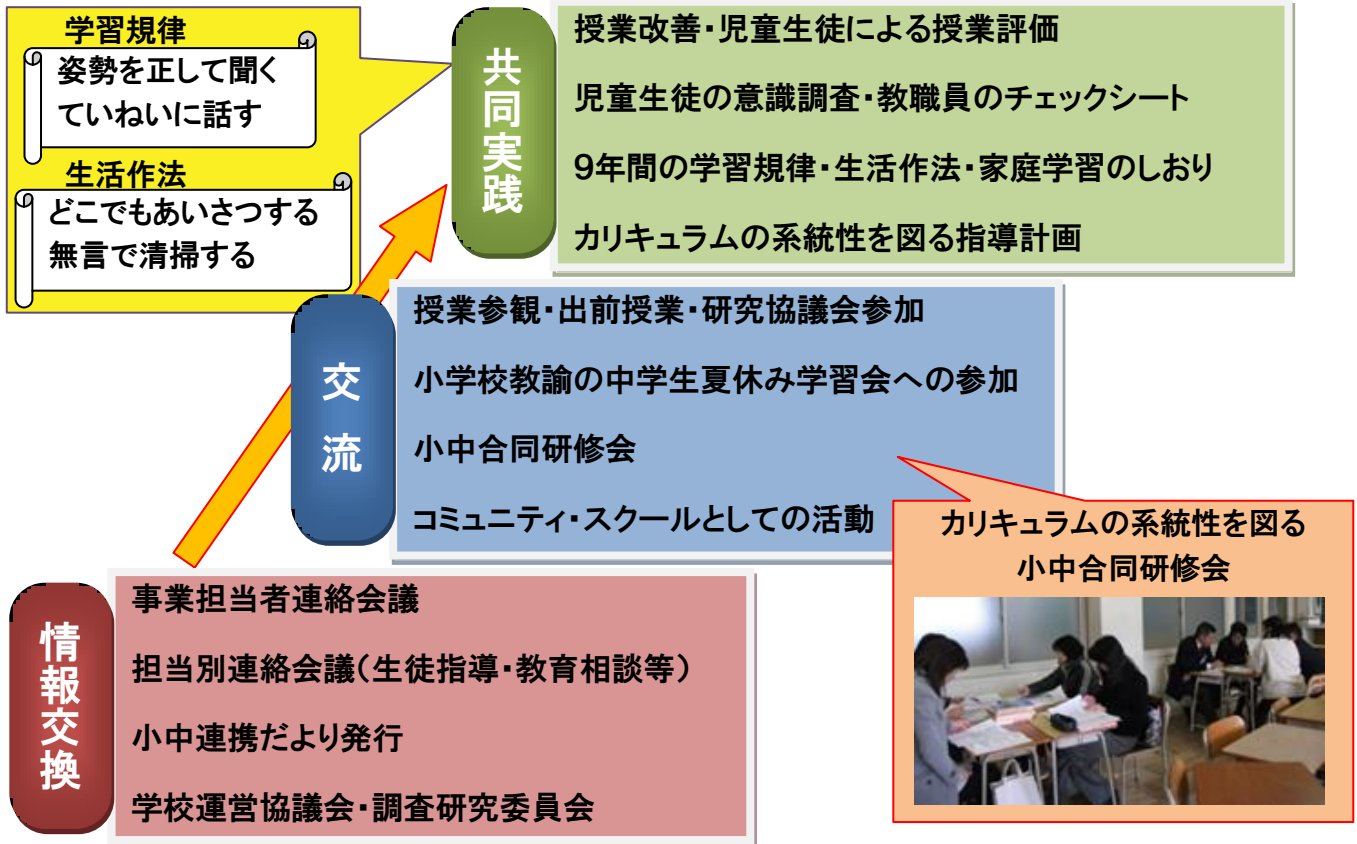


他にも、小学生と中学生の交流体験を行っています。

3

小中連携・小小連携・地域交流

連携は、「情報交換」→「交流」→「共同実践」の3段階で進めています。



意識調査

岐陽中学校区では、小学校5年から中学校3年までの児童生徒を対象に、年2回の意識調査を実施し、児童生徒の変容を確かめながら、「魅力ある学校づくり」を目指して取り組んでいます。

